

全国の山村のモデルとなる 一歩先を行く取り組みを 積極果敢に展開します

年頭のあいさつ

葛巻町長 鈴木重男



新年明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとりまして、明るく希望に満ちあふれる素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。

さて、私は、町長就任以来、「町民の医療と教育は絶対に守る」を信条に、町民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、昨年もさまざまな取り組みを展開してまいりました。

医療におきましては、国保葛巻病院新築事業の順調な進捗をはじめ、新たな常勤医師として山崎副院長の着任、携帯型医療機器の整備などによる訪問診療事業の充実、子どもたちの予防接種の費用を助成する「くずまキッズ予防接種事業」の拡充など、医療環境の充実に向けて一歩前進できた年でありました。

教育におきましては、総合運動公園多目的グラウンド改修工事をはじめ、小中学校校舎等耐震補強事業等に着手したほか、子どもたちが、幼児期からの多様な経験によりさまざまな可能性を見いだす機会をつくるため、町内保育園の年長児全員に行き渡るようにバイオリンを購入して音楽教室を開設するなど、将来を担う子どもたちの教育環境の充実のために大きく前進した一年ともなりました。

そして、まちづくりの根幹に関わる「人口減少問題」への取り組みとして、町民の住環境や子育て環境を充実させるための各種事業の推進に加え、4棟目となる定住促進住宅の整備事業にも着手しました。また、新たに、全国から葛巻高校への入学生を受け入れ、町の持つ機能や自然を生かしたさまざまな体験活動などを行う「くずまき山村留学制度」を創設し、その取り組みをスタートさせました。さらに、昨年11月には、庁内に人口減少問題対策本部を立ち上げ、

町の将来を見据えて国・県への施策提言に向けた検討を進めるなど、抱える課題を克服するために取り組んでいるところであります。

一方、町内では、町森林組合の農林水産大臣賞受賞をはじめ、町消防団第14分団の県消防操法競技会優勝と全国消防操法大会出場、また、全国障害者スポーツ大会や県高等学校総合体育大会での葛巻高校生や本町出身高校生の活躍など、昨年も県内外で町民が光り輝き、私たちに多くの勇気と誇りを与えていただきました。

本年は、昭和30年の1町2村の合併による町制施行から60年目を迎える記念すべき年であります。町では、先人が築き上げてきた歴史や伝統文化を次の時代へとしっかりとつなぎ、全町民が本当の意味での豊かさや幸せを実感できる確かな未来を築くために挑戦し続ける決意を思いに込めて「今をつないで未来へ」というテーマを設定して、町制施行60周年記念式典のほか、年間を通じてさまざまな事業を実施してまいります。

そして、町民が抱える「不安」を一つでも多く取り除き、町民誰もが「住み続けたい町」「誇りを持てる町」と思える「町民一体となった光り輝くまちづくり」を実現するため、全国の「山村のモデル」となるような一歩先を行く取り組みを積極果敢に展開し、まちづくりを一歩一歩着実に前進させてまいります。

年頭に当たりまして、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年もなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



栗村 龍斗さん
五日市小(栗山)

五日市小が町のネオホッケー大会で優勝できるよう、みんなで練習を頑張ります。毎週金曜と土曜の夕方は、自宅で牛の餌やりを手伝っているの、今年も続けます。勉強では、苦手な算数を克服できるよう頑張りたいです。



木戸場 凛さん
江刈小(小苗代)

町の水泳記録会(通信制)の平泳ぎで、今年も1位になれるよう頑張ります。馬淵川源流太鼓の会ジュニアは昨年、東北大会に出場しました。今年も全国大会に出場できるよう太鼓も一生懸命に頑張ります。



畠山 春輝さん
吉ヶ沢小(吉ヶ沢)

町の陸上記録会のソフトボール投げと100m走で入賞できるよう頑張ります。家庭科で調理実習をしているので、家でも料理の手伝いをしていきたいです。4月からは6年生。下級生の良い手本になれるよう頑張りたいです。



外山 瑞希さん
小屋瀬小(上外川)

家には約90頭の和牛がいます。ほぼ毎日、餌やりや牛舎内の掃除を手伝っているの、今年も兄弟4人で力を合わせて続けていきます。学校では、4月に2人の1年生が入ってくるので、たくさんのかことを教えてあげたいです。



大石 空さん
葛巻小(四日市)

野球スポーツ少年団「葛巻タイガース」の現在のメンバーは7人。試合に出られるよう仲間を増やします。また、ピッチャーの練習を始めたので、早く試合で投げてみたいです。プロ野球の大谷選手を目標に今年も練習に励みます。



今年のえとは**未来**。
町の**未来**を担う子どもたちに
今年の抱負を聞きました。

※平成15年生まれ、4月から6年生になる子どもたちにインタビュー